

2006年4月16日発行



「鵬際」鵬は翼の巾3,000里、一飛びで90,000里という伝説上の中国の鳥。そこで鵬（おととり）が飛び（=はるかなかなたの）空のことを言う。「際限のない」という意味でも使われる。私たち経済開発同友会の目指す活力ある八代づくりも、言わば際限のない努力を必要としますが毎年この機関誌を出す事によって一歩一歩目標に近付きたいのです。その願いを込めて誌名を「鵬際」と名付けました。尚、題字は本島小夜子先生にお願い致しました。



八代経済開発同友会
(通巻第93号)

<http://www.ytnet.or.jp/ykd/>
E-mail:yatsushiro_kkd@yahoo.co.jp



～情熱・感動・躍動～ 創造ろう新たなる八代

八代経済開発同友会
代表幹事 一 川 誠 一

昨年は「創造ろう・変革ろうやつしろ」のスローガンのもと、代表幹事として緊張感の中にも充実した人生経験を与えて頂きました会員の皆様に、まず衷心よりお礼申し上げます。また、我々の悲願でもありました新八代市も無事誕生し、坂田新市長とともに市民一丸となった希望あふれる第一歩を踏み出すことが出来ました。景気回復の報道とは逆に地方を取り巻く経済状況は更に厳しさを増しておりますが、八代商工会議所・八代青年会議所とともに地元の期待を率先垂範していく経済三団体として、活路を求めていきたいと考えております。

新八代市体制のもと本年より始まりました「八代市行財政改革推進委員会」・「八代市地域審議会」等におきましては我々の活動状況、合併後の課題等、皆様のお知恵を拝借しながら慎重に対

応していきたいと思います。

さて、本年度は「情熱・感動・躍動創造ろう新たなる八代」のスローガンのもと6委員会を設けましたが、合併後の状況把握と新規会員の発掘を強力にお願いする次第です。①総務委員会では、魅力ある例会・公開例会・視察研修を、②広報情報委員会では、鵬際発行・各委員会活動状況・他団体との情報交換を、③八代街づくり委員会では、昨年より八代高専・しきいし会の皆様とともに研究した八代駅前開発の具現化・中心市街地活性化問題・エコポート構想の推進を、④観光問題委員会ではおれんじ鉄道沿線ネットワーク確立・広域体験型観光・新たな観光資源の発掘を、⑤日奈久活性化委員会では、昨年一年間を通じて意思の統一を得た地元中心の13団体との足湯建設の確立・平成町開発を、⑥企画誘致委

員会では、街づくり・観光・日奈久の各委員会の総括問題としての従来型イベント見直し・誘客や宿泊を最終目的とした新規イベントの開発等に努力頂きたいと思います。幸いなことにわが八代には、スポーツ・文化の両面において全国制覇の高校が勢揃いしております。是非ともご助言・ご協力を頂き、地域経済浮揚の一助にと大いに期待するところです。

私は八代に生まれ、育てて頂き55年になります。幼少の思い出に田植えの後と稻刈り後は祖母に連れられ日奈久の湯治、中学時代は八代駅より電車に

乗り水前寺競技場へ、高校時代はアーケード街で遊んだ思い出が鮮烈によみがえります。三位一体改革等、国・地方の構造改革が本格化する中、今こそが恩返しの時だと考え、皆様方の叱咤激励をお願いし新八代の景気浮揚・定住人口の増加を達成したいと考えております。

最後になりましたが、本年も坂田八代市長をはじめ行政の方々のご指導を仰ぎながら、会員の皆様のご支援ご協力を重ねてお願い申し上げましてご挨拶と致します。

各委員会委員長挨拶

総務委員会

委員長 山田 邦彦



光見えない「やつしろ」に様々な情報提案を発信をしていく「八代経済開発同友会」こそが、「外への改革はまず内なる改革から」をキーワードにして実践しなければと総務委員会は考えます。まず年に7回開催する例会に対する取り組みですが、常に会員と時代のニーズを収集しながら、会員の皆さんに提案企画をしてまいります。また幹事会に於いては会議の効率化と紙資源削減を目指す為、昨年よ

り行っていますプロジェクトを利用してのペーパーレス会議を段階的に実施し、皆様に提案をし続けてまいります。当委員会は例会、各総会また年間を通じて様々な事業に携わっております。そこで当委員会は、各事業に対して企業人らしく節約するべきは是として取り組み、会員の皆様のご理解を頂ける事業優先の予算執行にも取り組んでまいります。最後になりましたが、総務委員会と広報情報委員会にご出向して頂く各委員会の皆様より貴重なご意見を頂きながら、また各委員会に新鮮な情報を還元出来るよう取り組んでまいります。

広報委員会

委員長 小 笹 康 博

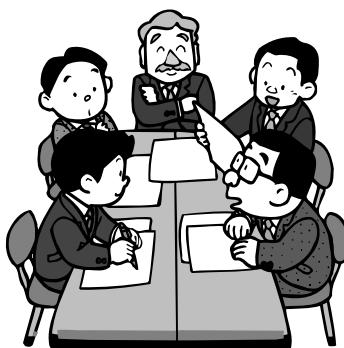


固定電話、携帯電話、FAX、インターネット等々、情報インフラの多様化と情報過多により、本当に必要な情報が情報の中に埋もれてしまっているのではないでしょうか。

今年度は、適切な情報の適切なチャンネルで、新鮮な情報の発信を心がけて活動していきたいと考えています。

鵬際では、同友会としての活動を広く告知していきます。ホームページでは、対外的に告知するのは勿論、各委員会、各会員相互の情報交換の場として利用できるようにします。また、メールマガジンでは、同友会活動をリアルタイムに会員の皆様に提供するのと同時に、会員企業や他団体の情報を提供していきます。

当委員会だけでは情報の収集さえも出来ません。各委員会、会員の皆様、そして他団体との連携を通じて、皆様への少しでもお役に立つ情報の提供ができるよう1年間事業運営を行ってまいりますので、何卒宜しくお願ひいたします。



八代街づくり委員会

委員長 中 村 重 之



八代地域の定住人口増加に寄与すべく、勉強会を開く事を究極の目標としたい。その手段として、街づくりの活動を行うという事になる。主たる活動として、八代駅前振興、八代港振興、商店街活性化の3部門として、それぞれ担当副委員長に補佐して頂くこととします。八代城については、観光開発と中心街振興の相乗効果を期待出来る重大事業と考えるが、平成17年度内に陳情済みということで、本年度はその追跡と勉強会は続ける。会員、委員諸氏のご指導、ご協力をお願いします。八代駅及び商店街については、地元住民の方々の熱意がなければ画餅に終わるのではないかと懸念する次第です。

観光問題委員会

委員長 吉 岡 洋



八代・鹿児島新幹線が開業し、八代は通過点として定着しつつあり、4年後の博多までの全線開通を目前に控え通過駅・ストロー現象が進行していく状況を観光面から問題点を洗い出し、その解決策を探っていきたいと思います。肥薩おれんじ鉄道沿線ネットワークを開催し、県南観光の現状を把握し、観光資源・地域資源の開

発を共通の課題とし、広域観光マップの作成、情報発信の一元化することで効率的、効果ある観光の活性化を目指します。体験型観光の推進では旅行業者（お客様サイド）から見た観光ニーズを研究し、観光基盤の整備への提言をしていく。県南独自の歴史・文化や豊かな自然や農林産業をとおして、外客確保を図り、地域の活性化へむすびつけていく。晩白柚オーナー制の事業を後援し、体験観光を実施し、情報発信・誘客・コーディネートなどを行いながら、外客とコミュニケーションし、さらなる観光アイテムを作っていく事を目的とする。

企画誘致委員会

委員長 松 岡 隆 志



新規委員会である「企画誘致委員会」では、主にスポーツ大会の実施における八代の宿泊を視野に入れたまちづくりを企画いたします。

新幹線に高速道路、港湾や農林業など、他の地方自治体から見れば喉から手が出るようなこの八代。まだまだ、その利便性を5分の1も使い切っていないのではないかでしょうか。

企画誘致委員会は、まず八代に足を運んでいただく。日奈久や市内に宿泊していただく事をビジョンとし、上記スポーツ大会を企画・実施していきます。

新規委員会に新入会員の委員長ではございますが、持てる力は発揮いたし

ますので会員皆様の絶大なる、ご支援・ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

日奈久活性化委員会

委員長 伊 藤 輝 充



今年度も昨年に引き続き日奈久活性化委員長を受け、委員会、会員の皆様もメンバー的には変わらず、新しい会員様にも数名入って頂き、充実した委員会になりました。当委員会だけでは何も出来ません。各委員会、会員の皆様に協力を頂き、1年間事業運営を行ってまいりますので、何卒宜しくお願い致します。



2006（平成18年度）八代経済開発同友会運営図

◎スローガン 情熱・感動・躍動
新たなる八代

各委員会活動方針

総務委員会

- ① 例会の開催
- ② 定時総会、臨時総会の開催
- ③ ペーパーレス幹事会の推進
- ④ 慶寿の会、絆友会等懇親の場の開催

広報情報委員会

- ① 広報誌の発行
- ② 各委員会活動の情報収集と発信
- ③ 他団体との情報収集と発信
- ④ 会員拡大

八代街づくり委員会

- ① 八代駅前振興（八代駅周辺再開発、駅舎）
- ② 八代港振興（内港、外港など）
- ③ 中心商店街活性化（通町～本町）
- ④ 八代城復元の勉強会

観光問題委員会

- ① 肥薩おれんじ鉄道沿線ネットワークの活用
- ② 体験型観光の推進
- ③ 晩ペイ柚オーナー制度の後援

日奈久活性化委員会

- ① 足湯建設の早期実現
- ② 平成干拓開発への積極的参画
- ③ 温泉・観光ルートの研究開発
- ④ 新日奈久温泉駅の新設に対する働きかけ
- ⑤ 5月八代・天草架橋建設促進民間協力期成会への協力

企画誘致委員会

- ① (仮) 全九州高校生バトミントン大会の企画・運営・実施
- ② (仮) 同友会旗高校生選抜柔道・剣道大会の企画・運営・実施